

## 令和7年度学校関係者評価委員会報告書

日時：令和8年4月23日(木) 19:00~

場所：渋川看護専門学校 調理室

### 1. 学校関係者評価委員(4名)

#### 1) 学外委員

松本 達彦	渋川地区医師会	副会長
神保 進	渋川地区医師会	学校担当理事
田中 永	田中病院	院長(実習病院)
中島 邦喜	北関東循環器病院	副院長(実習病院)

#### 2) 学内委員

井口 千春	渋川看護専門学校	学校長
町田 理恵	渋川看護専門学校	副学校長
橋爪 博明	渋川看護専門学校	事務長
剣持 和美	渋川看護専門学校	教務主任
井本 寿子	渋川看護専門学校	実習調整者
村田 薫	渋川看護専門学校	事務次長

### 2. 評価について

評価年度	令和7年度
評価日	令和8年3月
評価者	教職員(13名)

### 3. 評価方法及び公表

本会議の実施にあたっては、事前に開催した4月の学校運営委員会において、令和6年度自己評価及び改善計画の実施状況について説明を行った。特に、令和6年度の評価結果を踏まえ、次年度に向けて医師会立看護学校として評価項目の見直しを行った経緯及びその趣旨について報告した。その後、令和8年4月23日に学校関係者評価委員会を開催し、令和7年度自己評価の内容について説明を行うとともに、学校関係者評価委員による評価表に基づく評価を実施した。

また、学校運営上の課題及び今後の改善方策等について、委員各位より意見及び提言を頂戴した。委員会において頂戴した意見・提言については、本報告書として取りまとめ、今後の教育活動及び学校運営の改善に活用し、教育水準の維持・向上並びに

学校運営の充実に努めていく。なお、本報告書については、本校ホームページにおいて公表する。

#### 4. 議事内容

令和7年度の活動実績に対し、学校関係者評価委員と学校関係者との間で十分意見交換を行い、本校の現状及び課題について共通理解を深めた。

- (1) 学校関係者による評価
- (2) 学校運営改善に向けた取組が適切に実施されているかについて
- (3) その他、学校運営全般に関する助言及び提言

#### 5. 評価結果

近年、高校新卒者における看護師志望者数の減少傾向に加え、コロナ禍による看護職へのイメージ低下や大学志向の高まり等の影響により、看護専門学校を志望する学生数が大幅に減少している。本校においても、このような社会的背景の中、4年連続で入学定員を充足できない状況となっている。学生募集活動については、新たな募集施策の検討及び社会人学生の確保に向けた取組を一層推進する必要がある。高校新卒者の進学機会を確保し、本校への入学促進を図るためには、高等教育の修学支援新制度の対象校として承認を受けることが重要な課題となっている。また、社会人学生の受け入れ促進に向けては、専門実践教育訓練給付金の対象校となることが重要な課題である。しかしながら、現状の入学状況等を踏まえると、現時点での指定は困難な状況にある。そのため、社会人学生への経済的支援を充実させ、学び直しを支援する観点から、県及び自治体、地域医療を担う人材確保の観点から、地域の医療機関等とも連携し、社会人学生が安心して修学できる支援体制の整備について協議・検討を進めていくことが必要である。

また、卒業後における卒業生の状況把握や、シラバス等で示している「期待される卒業生像」に関する評価については、十分な実施に至っていない現状がある。国家試験対策についても、今年度は学生のニーズに十分対応した内容とはならず、評価の低下がみられた。卒業生の状況を継続的に把握することは容易ではないものの、実習施設等へ就職した卒業生の状況について可能な範囲で把握に努める必要がある。また、国家試験対策については、学生の学習状況や理解度等を分析し、個々の学生の状況やニーズに応じた支援方法を取り入れながら、より効果的な対策を実施していく必要がある。

さらに、教職員の給与規程並びに昇給・昇任に関する基準については、公平性及び透明性を確保する観点から、教職員に対して適切に周知するとともに、明確かつ開かれた形での開示・公表を行う必要があるとの意見があった。

## 6. まとめ

委員各位より指摘を受けた受験生・入学生の確保及び卒業後の進路支援については、次年度より新たな対策を検討し、順次実施していく予定である。また、教職員については、積極的な研修参加等を通じて研鑽を積み、教育活動に自信と責任をもって取り組めるよう、教員としての資質向上に努めていく。今後も、学校関係者各位より頂戴した意見・提言を踏まえ、本校の特色及び地域性を活かしながら、教育内容及び学校運営のさらなる充実と改善に努めていく。